

第21回インフォーマルミーティング開催のお知らせ

日本核医学技術学会関東地方会

会長 三宮 敏和

学術委員長 濱崎 千裕

謹啓

会員の皆様には、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、昨年、一昨年とインフォーマルミーティングではモニター管理・DICOM・IHE - J とこれらの話題を提供してきました。医療の中でIT化が推進されフィルムレス化が進む中、画像データの受け渡しには様々な課題が提起されています。今年の春の技術学会総会のセッションでも話題になっていましたが、各社・各施設が出力したCD-R等の媒体が必ずしも DICOM の情報を満足していない現実が示されていました。各施設で取り扱う DICOM データを他施設に渡したときに、果たして問題なくデータが充足しているのだろうか？ 読影された報告書が電子カルテ上で参照でき、指摘された病変部がレポート上をクリックすると、画像情報にリンクされオーダー医師側に伝達されている環境が、可搬媒体上でどのように再現されているのであろうか？ また、画像を DICOM 以外の形式（例：JPEG,BMP,etc）で外部から持参された場合、どう取り扱えばよいのか？ フィルム運用がまだまだ根強い医療環境の中、病院内のデータ取り扱いのみならず、地域連携等で外部施設からの画像データ取り扱いについても十分な検討が必要になってきています。

そこで今回のインフォーマルミーティングは、画像入出力に関わる「可搬媒体の取り扱いについて」をテーマで開催いたします。会員、非会員を問わず、お誘いあわせの上ご参加下さいます様、ご案内申し上げます。詳細なプログラム・会場等は再度メール等を通じてご案内いたします。

謹白

なお、日本核医学技術学会専門技術者の認定単位は、5点

日本核医学専門技師認定機構の認定単位は、5点の加算となります。

記

日時 : 平成21年 1月 10日(土曜日)
15時00 ~ 18時00

場所 : 〒153-8515 東京都目黒区大橋2-17-6
東邦大学医療センター大橋病院
教育棟1F 臨床講堂

参加費 : 1000円

問い合わせ : 東邦大学医療センター大橋病院
核医学検査室 学術担当 濱崎千裕
03-3468-1251 (内線3234)
e-mail hama@oha.toho-u.ac.jp



* 東急田園都市線（豈園半蔵門線より直通あり）

池尻大橋駅（渋谷駅より一つ目）下車、北口徒歩5分

主催

日本核医学技術学会 関東地方会

第21回インフォーマルミーティング

テーマ 『可搬媒体の取り扱いについて』

場所 東邦大学医療センター大橋病院

教育棟 1F 臨床講堂

日時 平成21年1月10日 15:00~18:00

プログラム

14:30~

受付開始

総合司会 帝京大学ちば総合医療センター 新尾 泰男 先生

15:00~15:30

ユーザーからの現状報告

講師 1) 東京大学医学部附属病院
2) 総合病院 国保旭中央病院

矢野 敬一 先生
嶋田 諭 先生

15:30~16:30

教育講演

「CDからPACSへの画像インポート 基本と注意点」

講師 アレイ株式会社 阿部 聰 先生

16:30~16:40

* * * * * * * 休憩 * * * * * * *

16:40~18:00

特別講演

「診療情報の施設間連携の課題と標準化技術を用いた解決」

* 診療情報の施設間連携の現状と課題、特にIHEの可搬型医用画像統合プロファイル(PDI)などの標準化技術による解決法についてご講演戴きます。

講師埼玉医大総合医療センター 放射線科 准教授

東京大学医学部附属病院 22世紀医療センター

健診情報学講座 准教授

奥 真也 先生

第21回インフォーマルミーティング開催報告 122名参加